



のびのび

No.65



2008年3月1日発行

発行所：医療法人ふるかわ医院

〒619-0221

京都府木津川市吐師宮ノ前 15-18

Tel / fax 0774-75-2650

予約専用電話☎0774-75-2652

<http://www.furukawa.or.jp>

麻疹（はしか）ワクチンは2回接種になります

昨年からはしかの予防接種を2回するようになりました。2回目の接種は、小学校入学前、中学1年生、高校3年生です。昨年、大学生を中心に麻疹（はしか）が流行しました。小さい時に麻疹の予防注射をしても、大人になると効果が薄れて発病することがあります。

大人になってからの感染を防ぐために、平成18年度から幼稚園の年長組の年に、2回目の予防注射をすることになりました。昨年度の全国の平均接種率は、約80%です。笠置町は90%でしたが、木津川市は68%（精華町は不明）でした。目標は、95%です。今年から、小学校入学前、中学1年生、高校3年生に2回目の接種をします。もちろん公費（無料）です。まだ予防注射を受けていない人は、ぜひ受けるようにしてください。詳しいことをお聞きになりたい方は、職員にお聞きください。

中学1年生と高校3年生の接種は、向こう5年間で終了になりますので該当する学年の時に忘れず接種しましょう。中学1年生は6月頃、市内中学にて集団接種となります（私立中学の方で木津川市在住の方は当院で接種できます）
高校3年生の方は個別接種になりますので体調の良いときに早めに接種して下さい（当院では夜診の曜日にも接種可能です）予約制です。



ご家族のための「禁煙外来」と子どものための「卒煙外来」のご案内

タバコは吸っている本人だけでなく、お子さんやご家族にとっても「百害あって一利なし」と言うと、中には「そんなことは百も承知、自分の責任で吸っているのだから自由でしょ」と反論される方もいらっしゃいます。しかし、実際には喫煙者の6割以上はタバコをやめたいと思っていて、何度か禁煙にトライしたのに失敗した経験をお持ちの方も多はずです。タバコが簡単にやめられないのは、「ニコチン依存（身体的依存）」と「心理的依存」という2つの依存症（中毒）のためであり、意志の強さとは関係ありません。2つの依存症に対して、「ニコチン置換療法」と「行動療法」を組み合わせることにより、苦しまずに楽に禁煙することが可能になっています。また、未成年の喫煙は深刻な問題で、特に若い女性の喫煙率は上昇し続けています。タバコは吸い始めた年齢が低いほど早期にニコチン依存に陥り、肺がんの死亡率も高くなります。しかし、気づいた時に適切な対処をすれば、間違っていた有害な習慣から一生逃れることも可能です。繰り返す喫煙には、厳しい叱責や謹慎処分ではなく、医学的な支援が必要なのです。タバコは、家族や周囲の人をも巻き込む致死率50%のロシアンルーレットであり、毎年国内で10万人、世界中で500万人がタバコによって命を落としています。一人でも多くの方がタバコと無縁（無煙）の健康で明るい生活を取り戻されるために、少しでもそのお手伝いができればと希望します。禁煙外来は月曜夜診で診療しています。保険診療ですのでぜひ覗いてみてください。

